

学校・学部経営計画

1 校訓・学校教育目標

(1) 校訓 「ひびき合い、つくり合う」

(2) 学校教育目標

「ひびき合い、つくり合う」中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる

～生徒が、教職員や保護者、地域の人々、生徒同士とひびき合い、
より良い学校や地域、それぞれの生活をつくり合う中で、自分らしく、
なりたい自分（自立）に向かって、しなやかに取り組み、
自分の持てる力を発揮できる（力強く生きる）人を育てる～

★分校合言葉 **「地域で自立し、地域に貢献する人になろう」**

2 目指す像

(1) 目指す学校像

ア 生徒と教職員が健やかに朗らかに、安全で安心な生活ができる学校

イ 生徒が学びを深め、確かな成長を積み上げる学校

ウ 生徒が教職員や保護者、地域と共に、より良い生活（なりたい自分）をつくる学校

(2) 目指す生徒像

ア たくましくしなやかな心と体をもつ生徒

イ 家庭・学校・地域の一員としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる生徒

ウ 自分の生活をマネジメントできる生徒

3 目標具現化の柱（目指す教員像）

「目的を明確にした効果的な業務遂行のもとに」

ア 安心して学べる安全な環境をつくる 【安全・安心】

イ 学びと成長を積み上げる授業をつくる 【授業】

ウ より良い生活づくりをともに支える関係をつくる 【連携】

4 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安全・安心	命を守る危機管理・安全管理体制の整備と対応力の向上	- 状況に適した危機管理マニュアルの改訂とその内容の周知 - 様々な想定での訓練の実施	- 南海トラフ地震臨時情報発表時や災害等緊急時における緊急連絡体制、引き渡しの流れ等について理解している教員 90% 緊急時の対応を理解している保護者 90% - 不審者・緊急時・登下校途上での発災時に自分がどう動いたら良いかわかる生徒 90%	生徒指導 保健体育 学年
	教職員一人一人の人権感覚の向上と人権意識の高い生徒の育成	- 人権を尊重した教育活動の推進 - 困りごとの積極的把握と早期対応	- 生徒の手本となる行動を意識し、人権を常に尊重して対応できた教員 100% - 相手に気持ちの良い言葉遣いで話すことができた生徒、教員 100%、言葉遣いが良いと感じた保護者 100% - 人間関係等の困りごとの積極的把握に努め、早期に組織的に対応した教員 100%、早期に対応	学年 生徒指導 教務・連携

			してもらえたと答える生徒・保護者 100%	
イ 授業	生徒が学びを深め、確かな成長を感じる授業の充実	・「なりたい自分に向かって、自分の持てる力を発揮できる授業づくり」をテーマとする校内研修の実施 ・保健・体育の授業の充実 ・ICT 端末活用の促進	・適切な実態把握と目標設定、学習評価を行い、授業改善や生徒指導を行った教員 90% ・授業をとおして、「学んだことが分かる」「成長を感じる」ことができた生徒・保護者 95% ・授業で ICT 端末を使い、課題解決に向け活用することができた生徒・教員 100%	研修・学習指導 保健体育
	目的を明確にした効果的な業務の遂行	・教職員の専門性を高めるための時間の確保（短縮週間の設定、専門性向上研修の実施、作業班会月 1 回等）	・ICT を活用して、単元の反省や情報共有を行い、次の授業づくりや進捗状況の共有、引継ぎ等を行った教員 90% ・自己の学びの目的を明確にして各種研修などに参加することで、キャリアステージに応じた自身の資質向上につなげた教員 100%	研修・学習指導 学年
ウ 連携	共生社会の実現を目指し、学びある交流・共同学習の充実	・目的や目標を明確にした交流・共同学習の計画的実施	・焼津分校ならではの活動をとおして、焼津分校のことを積極的にアピールした生徒・教員 100% ・目的や目標を明確にした事前学習を行い、生徒の気持ちを高めて交流・共同学習につなげた教員 100%	教務・連携 学年
	「より良い生活」「なりたい自分」に向けた本人の歩みを支える連携	・キャリア面談や三者面談の計画的実施と内容の充実 ・生徒の自己理解を深める進路指導、キャリア教育の充実	・意義や活用の仕方、個別の指導計画等とのつながりを確認してキャリア面談や三者面談が行えた教員 100% ・本人中心で、個別的教育支援計画・個別の指導計画を作成し、活用した生徒・教員・保護者 90% ・キャリア教育・職業に関する学習をとおして自己理解が深まり、なりたい自分を描くことができた生徒 90% ・なりたい自分を実習先等関係機関に伝えることができた生徒・教員 90% ・進路に関する情報を担任や進路担当から得ることができた生徒・保護者 90%	教務・連携 進路 学年